



平成28年 9月15日

各 位

会 社 名 株式会社リアルワールド
代表者名 代表取締役社長 菊池 誠晃
(コード：3691、東証マザーズ)
問合せ先 取締役経営本部長 東本 和人
(TEL. 03-5114-3580)

**(訂正・数値データ訂正)平成27年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)
の一部訂正について**

当社は、平成27年2月13日に発表した表記開示資料について訂正がありましたのでお知らせします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途本日(平成28年9月15日)付「平成28年9月期 第3四半期決算短信の提出及び過年度の決算短信等の訂正、過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は多数に及ぶため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成27年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月13日

上場会社名 株式会社リアルワールド 上場取引所 東
 コード番号 3691 URL http://realworld.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)菊池 誠晃
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営本部長 (氏名)東本 和人 (TEL) 03(5114)3580
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・証券アナリスト向け)

1. 平成27年9月期第1四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----|---|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年9月期第1四半期 | 582 | — | △35 | — | △36 | — | △23 | — |
| 26年9月期第1四半期 | — | — | — | — | — | — | — | — |

(注) 包括利益 27年9月期第1四半期 △23百万円 (—%) 26年9月期第1四半期 —百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年9月期第1四半期 | △8.82 | — |
| 26年9月期第1四半期 | — | — |

(注) 1 当社は第1四半期の業績開示を平成27年9月期より行っているため、平成26年9月期第1四半期の記載及び平成27年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2 平成27年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 27年9月期第1四半期 | 2,549 | 1,213 | 43.1 |
| 26年9月期 | 2,081 | 1,123 | 54.0 |

(参考) 自己資本 27年9月期第1四半期 1,100百万円 26年9月期 1,123百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年9月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 27年9月期 | — | — | — | — | — |
| 28年9月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-------|------|------|------|------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 通期 | 4,000 | 45.1 | 300 | 61.6 | 300 | 62.4 | 150 | 44.7 | 55.46 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) 株式会社マークアイ、除外 1社 (社名) —

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

| | | | |
|----------|------------|----------|------------|
| 27年9月期1Q | 2,705,300株 | 26年9月期 | 2,704,400株 |
| 27年9月期1Q | —株 | 26年9月期 | —株 |
| 27年9月期1Q | 2,704,886株 | 26年9月期1Q | —株 |

(注) 当社は第1四半期の業績開示を平成27年9月期より行っているため、平成26年9月期第1四半期の期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| (重要な後発事象) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策の推進により、円安・株高傾向が続き、国内景気は緩やかな回復基調をもって推移しております。その一方で、消費税率引き上げ後の個人消費に弱さがみられ、依然として先行き不透明な状況が続いております。

そのような中、当社を取り巻く環境といたしましては、クラウドソーシング市場においては、昨今社会的認知度が飛躍的に上がってきており、平成26年における市場規模は約400億円、平成30年においては、約1,750億円を超えるという予測が出ております(榊野経済研究所)。当社はこの成長市場において提携戦略を推進し、当社の「CROWD」における業務領域を拡大しつつ、引き続きマイクロタスク型クラウドソーシングに注力していく所存です。

加えて、前期同様、インターネット上のポイントの認知も進んでいると考えております。国内におけるポイント・マイルの年間発行額の推移は、平成26年においては、8,994億円相当であり、平成30年には1兆円規模にまで成長するものと予測されております(榊野村総合研究所)。

また、当第1四半期連結累計期間において当社は、知的財産権に関わる事業を展開する、株式会社マークアイ(以下「マークアイ」)を子会社化し、クラウド事業の領域を拡大致しました。マークアイの事業ドメインである知的財産権管理の周辺分野においては、機密性の観点から労働集約的な業務が多数存在しております。ここに蓄積されているマークアイのノウハウと、当社のクラウドソーシングの技術とリソースをかけあわせて、新規市場へ開拓を進めてまいります。

当社グループはこのような事業環境のもと、クラウド事業及びポイントエクスチェンジ事業を中心として事業を展開しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は582,699千円、営業損失は35,819千円、経常損失は36,352千円、四半期純損失は23,862千円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

a. クラウド事業

当第1四半期連結累計期間においては、クラウドソーシングサービスをメインに、既存取引先だけでなく、新規取引先への積極的な営業を重ね、受注額・件数を増加させております。また、将来的に拡大していく受注に対応し得る生産力を確保していくため、より効果的・効率的なシステム的设计・調整に注力致しました。

この結果、売上高は573,910千円、セグメント利益は59,662千円となりました。

b. ポイントエクスチェンジ事業

当第1四半期連結累計期間においては、ユーザーによる活発なポイント利用を促すため、一部、交換手数料を無料にする等の施策を行っております。

この結果、売上高は8,789千円、セグメント利益は1,235千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計会計期間における資産、負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、292,125千円減少し、1,671,634千円となりました。これは主として、株式会社マークアイ（以下「マークアイ」）を連結の範囲に含めたことにより、流動資産全体として510,760千円増加したことものの、マークアイの取得に伴う563,696千円、及び移転に伴う敷金の拠出で131,295千円の支出をしたことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、760,328千円増加し、877,818千円となりました。これは主として、移転に伴う敷金の増加による177,289千円、及びマークアイを連結の範囲に含めたことにより固定資産全体として158,956千円増加したことに加え、マークアイ株式の取得に伴う、401,799千円のものれんの発生によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、468,203千円増加し、2,549,453千円となりました。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて、377,920千円増加し、1,335,914千円となりました。これは主として、マークアイを連結の範囲に含めたことにより、負債全体として317,515千円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、90,283千円増加し、1,213,539千円となりました。これは主として、マークアイを連結の範囲に含めたことにより、少数株主持分が、113,433千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期の連結業績通期の見通しにつきましては、平成26年12月15日に公表いたしました株式会社マークアイの子会社化に伴い、連結売上高の増加を見込んでおります。

このような状況を受け、通期の連結業績予想につきましては、同日（平成27年2月13日）に公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり修正いたしました。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、新たに株式を取得した、株式会社マークアイを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年9月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,224,755 | 727,506 |
| 売掛金 | 489,367 | 580,160 |
| 仕掛品 | — | 57,907 |
| 貯蔵品 | 14,343 | 19,175 |
| 繰延税金資産 | 157,212 | 182,652 |
| その他 | 79,595 | 105,740 |
| 貸倒引当金 | △1,514 | △1,508 |
| 流動資産合計 | 1,963,760 | 1,671,634 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物（純額） | 6,893 | 6,024 |
| その他（純額） | 4,321 | 8,755 |
| 有形固定資産合計 | 11,215 | 14,779 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 23,510 | 421,391 |
| ソフトウェア | 3,139 | 133,000 |
| その他 | 528 | 11,331 |
| 無形固定資産合計 | 27,177 | 565,724 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,000 | 1,000 |
| 敷金及び保証金 | 69,149 | 265,764 |
| 繰延税金資産 | 8,421 | 7,269 |
| その他 | 7,452 | 31,180 |
| 貸倒引当金 | △6,927 | △7,899 |
| 投資その他の資産合計 | 79,096 | 297,314 |
| 固定資産合計 | 117,489 | 877,818 |
| 資産合計 | 2,081,249 | 2,549,453 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 60,131 | 189,546 |
| 短期借入金 | 200,000 | 200,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | — | 32,429 |
| 1年内償還予定の社債 | 20,000 | 20,000 |
| 未払金 | 104,572 | 154,021 |
| 未払法人税等 | 24,515 | 21,933 |
| 未払消費税等 | 65,425 | 56,539 |
| ポイント引当金 | 415,401 | 404,341 |
| その他 | 55,191 | 167,729 |
| 流動負債合計 | 945,238 | 1,246,541 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | — | 74,514 |
| 社債 | 10,000 | 10,000 |
| その他 | 2,755 | 4,859 |
| 固定負債合計 | 12,755 | 89,373 |
| 負債合計 | 957,993 | 1,335,914 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年9月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 411,162 | 411,567 |
| 資本剰余金 | 403,220 | 403,625 |
| 利益剰余金 | <u>306,361</u> | <u>282,499</u> |
| 株主資本合計 | <u>1,120,744</u> | <u>1,097,692</u> |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | 2,341 | 2,352 |
| その他の包括利益累計額合計 | <u>2,341</u> | <u>2,352</u> |
| 少数株主持分 | 169 | 113,494 |
| 純資産合計 | <u>1,123,255</u> | <u>1,213,539</u> |
| 負債純資産合計 | <u>2,081,249</u> | <u>2,549,453</u> |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日) |
|--------------------|---|
| 売上高 | 582,699 |
| 売上原価 | 351,541 |
| 売上総利益 | 231,157 |
| 販売費及び一般管理費 | 266,976 |
| 営業損失(△) | △35,819 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 15 |
| 差入保証金回収益 | 105 |
| その他 | 107 |
| 営業外収益合計 | 227 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 563 |
| 為替差損 | 188 |
| その他 | 9 |
| 営業外費用合計 | 761 |
| 経常損失(△) | △36,352 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △36,352 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,137 |
| 法人税等調整額 | △13,511 |
| 法人税等合計 | △12,373 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △23,978 |
| 少数株主損失(△) | △116 |
| 四半期純損失(△) | △23,862 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自平成26年10月1日
至平成26年12月31日)

| | |
|---------------------|---------|
| 少数株主損益調整前四半期純損失 (△) | △23,978 |
| その他の包括利益 | |
| 為替換算調整勘定 | 409 |
| その他の包括利益合計 | 409 |
| 四半期包括利益 | △23,569 |
| (内訳) | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △23,851 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 282 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第1四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成26年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 2 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3 |
|-----------------------|---------|----------------------------|---------|--------------|----------------------------|
| | クラウド事業 | ポイントエクス チェンジ事業 (注) 1 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 573,910 | 8,789 | 582,699 | - | 582,699 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | - | - | - | - | - |
| 計 | 573,910 | 8,789 | 582,699 | - | 582,699 |
| セグメント利益又は損失(△) | 59,662 | 1,235 | 60,897 | △96,716 | △35,819 |

(注) 1. ポイントエクスチェンジ事業のセグメント利益の額の算定にあたっては、ポイント引当金戻入額を当該事業セグメントの費用に含めております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第1四半期連結会計期間において、株式取得により株式会社マークアイを子会社化したため、同社を連結の範囲に含めております。これにより前連結会計年度の末日に比べ、「クラウド事業」のセグメント資産が669,717千円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「クラウド事業」において、株式会社マークアイの株式取得に伴い、当第1四半期連結累計期間により、同社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては、401,799千円であります。

(重要な後発事象)

(子会社株式の追加取得)

当社は、平成27年1月19日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社マークアイの株式を追加取得することを決議し、平成27年1月30日付にて当該会社の普通株式16.1%を取得いたしました。

(1) 取引の概要

①結合当事企業の名称及び事業の内容

結合当事企業の名称 株式会社マークアイ

事業の内容 知的財産権に関する総合コンサルティング事業

②企業結合日(追加取得日)

平成27年1月30日

③企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

④結合後企業の名称

名称に変更はありません。

⑤その他取引の概要に関する事項

当社グループ経営の安定強化及び機動的かつ柔軟な経営判断を可能にすることを目的として、少数株主が保有する株式を追加取得し、持分比率の引き上げを実施致しました。

(2) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)に基づき、平成27年3月31日をみなし取得日とし、共通支配下の取引等のうち、少数株主との取引として会計処理を行う予定であります。

(3) 子会社株式の追加取得に関する事項

①取得原価及びその内訳

139,475千円

②発生したのれんに関する事項

現時点では確定しておりません。

(訂正前)



平成27年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月13日

上場会社名 株式会社リアルワールド 上場取引所 東
 コード番号 3691 URL http://realworld.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)菊池 誠晃
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営本部長 (氏名)東本 和人 (TEL) 03(5114)3580
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・証券アナリスト向け)

1. 平成27年9月期第1四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----|---|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年9月期第1四半期 | 579 | — | △40 | — | △40 | — | △26 | — |
| 26年9月期第1四半期 | — | — | — | — | — | — | — | — |

(注) 包括利益 27年9月期第1四半期 △26百万円(—%) 年 月期第1四半期 一百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年9月期第1四半期 | △9.82 | — |
| 26年9月期第1四半期 | — | — |

(注) 1 当社は第1四半期の業績開示を平成27年9月期より行っているため、平成26年9月期第1四半期の記載及び平成27年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2 平成27年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 27年9月期第1四半期 | 2,547 | 1,217 | 43.4 |
| 26年9月期 | 2,088 | 1,130 | 54.1 |

(参考) 自己資本 27年9月期第1四半期 1,104百万円 26年9月期 1,130百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年9月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 27年9月期 | — | — | — | — | — |
| 28年9月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-------|------|------|------|------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 通期 | 4,000 | 44.6 | 300 | 53.2 | 300 | 53.3 | 150 | 35.5 | 55.46 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) 株式会社マークアイ、除外 1社 (社名) —

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

| | | | |
|----------|------------|----------|------------|
| 27年9月期1Q | 2,705,300株 | 26年9月期 | 2,704,400株 |
| 27年9月期1Q | —株 | 26年9月期 | —株 |
| 27年9月期1Q | 2,704,886株 | 26年9月期1Q | —株 |

(注) 当社は第1四半期の業績開示を平成27年9月期より行っているため、平成26年9月期第1四半期の期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| (重要な後発事象) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策の推進により、円安・株高傾向が続き、国内景気は緩やかな回復基調をもって推移しております。その一方で、消費税率引き上げ後の個人消費に弱さがみられ、依然として先行き不透明な状況が続いております。

そのような中、当社を取り巻く環境といたしましては、クラウドソーシング市場においては、昨今社会的認知度が飛躍的に上がってきており、平成26年における市場規模は約400億円、平成30年においては、約1,750億円を超えるという予測が出ております(榊野経済研究所)。当社はこの成長市場において提携戦略を推進し、当社の「CROWD」における業務領域を拡大しつつ、引き続きマイクロタスク型クラウドソーシングに注力していく所存です。

加えて、前期同様、インターネット上のポイントの認知も進んでいると考えております。国内におけるポイント・マイルの年間発行額の推移は、平成26年においては、8,994億円相当であり、平成30年には1兆円規模にまで成長するものと予測されております(榊野村総合研究所)。

また、当第1四半期連結累計期間において当社は、知的財産権に関わる事業を展開する、株式会社マークアイ(以下「マークアイ」)を子会社化し、クラウド事業の領域を拡大致しました。マークアイの事業ドメインである知的財産権管理の周辺分野においては、機密性の観点から労働集約的な業務が多数存在しております。ここに蓄積されているマークアイのノウハウと、当社のクラウドソーシングの技術とリソースをかけあわせて、新規市場へ開拓を進めてまいります。

当社グループはこのような事業環境のもと、クラウド事業及びポイントエクスチェンジ事業を中心として事業を展開しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は579,199千円、営業損失は40,200千円、経常損失は40,733千円、四半期純損失は26,681千円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

a. クラウド事業

当第1四半期連結累計期間においては、クラウドソーシングサービスをメインに、既存取引先だけでなく、新規取引先への積極的な営業を重ね、受注額・件数を増加させております。また、将来的に拡大していく受注に対応し得る生産力を確保していくため、より効果的・効率的なシステム的设计・調整に注力致しました。

この結果、売上高は570,410千円、セグメント利益は56,162千円となりました。

b. ポイントエクスチェンジ事業

当第1四半期連結累計期間においては、ユーザーによる活発なポイント利用を促すため、一部、交換手数料を無料にする等の施策を行っております。

この結果、売上高は8,789千円、セグメント利益は1,235千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計会計期間における資産、負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、301,363千円減少し、1,669,318千円となりました。これは主として、株式会社マークアイ（以下「マークアイ」）を連結の範囲に含めたことにより、流動資産全体として510,760千円増加したことものの、マークアイの取得に伴う563,696千円、及び移転に伴う敷金の拠出で131,295千円の支出をしたことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、760,328千円増加し、877,818千円となりました。これは主として、移転に伴う敷金の増加による177,289千円、及びマークアイを連結の範囲に含めたことにより固定資産全体として158,956千円増加したことに加え、マークアイ株式の取得に伴う、401,799千円ののれんの発生によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、458,965千円増加し、2,547,136千円となりました。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて、371,501千円増加し、1,329,414千円となりました。これは主として、マークアイを連結の範囲に含めたことにより、負債全体として317,515千円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、87,463千円増加し、1,217,722千円となりました。これは主として、マークアイを連結の範囲に含めたことにより、少数株主持分が、113,433千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期の連結業績通期の見通しにつきましては、平成26年12月15日に公表いたしました株式会社マークアイの子会社化に伴い、連結売上高の増加を見込んでおります。

このような状況を受け、通期の連結業績予想につきましては、同日（平成27年2月13日）に公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり修正いたしました。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、新たに株式を取得した、株式会社マークアイを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年9月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,224,755 | 727,506 |
| 売掛金 | 500,167 | 580,160 |
| 仕掛品 | — | 57,907 |
| 貯蔵品 | 14,343 | 19,175 |
| 繰延税金資産 | 153,333 | 180,335 |
| その他 | 79,595 | 105,740 |
| 貸倒引当金 | △1,514 | △1,508 |
| 流動資産合計 | 1,970,682 | 1,669,318 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物（純額） | 6,893 | 6,024 |
| その他（純額） | 4,321 | 8,755 |
| 有形固定資産合計 | 11,215 | 14,779 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 23,510 | 421,391 |
| ソフトウェア | 3,139 | 133,000 |
| その他 | 528 | 11,331 |
| 無形固定資産合計 | 27,177 | 565,724 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,000 | 1,000 |
| 敷金及び保証金 | 69,149 | 265,764 |
| 繰延税金資産 | 8,421 | 7,269 |
| その他 | 7,452 | 31,180 |
| 貸倒引当金 | △6,927 | △7,899 |
| 投資その他の資産合計 | 79,096 | 297,314 |
| 固定資産合計 | 117,489 | 877,818 |
| 資産合計 | 2,088,171 | 2,547,136 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 60,131 | 189,546 |
| 短期借入金 | 200,000 | 200,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | — | 32,429 |
| 1年内償還予定の社債 | 20,000 | 20,000 |
| 未払金 | 103,620 | 154,021 |
| 未払法人税等 | 24,515 | 21,933 |
| 未払消費税等 | 66,296 | 57,059 |
| ポイント引当金 | 415,401 | 404,341 |
| その他 | 55,191 | 160,709 |
| 流動負債合計 | 945,157 | 1,240,041 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | — | 74,514 |
| 社債 | 10,000 | 10,000 |
| その他 | 2,755 | 4,859 |
| 固定負債合計 | 12,755 | 89,373 |
| 負債合計 | 957,912 | 1,329,414 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年9月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 411,162 | 411,567 |
| 資本剰余金 | 403,220 | 403,625 |
| 利益剰余金 | <u>313,364</u> | <u>286,682</u> |
| 株主資本合計 | <u>1,127,747</u> | <u>1,101,875</u> |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | 2,341 | 2,352 |
| その他の包括利益累計額合計 | <u>2,341</u> | <u>2,352</u> |
| 少数株主持分 | 169 | 113,494 |
| 純資産合計 | <u>1,130,259</u> | <u>1,217,722</u> |
| 負債純資産合計 | <u>2,088,171</u> | <u>2,547,136</u> |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日) |
|--------------------|---|
| 売上高 | 579,199 |
| 売上原価 | 351,541 |
| 売上総利益 | 227,657 |
| 販売費及び一般管理費 | 267,858 |
| 営業損失(△) | △40,200 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 15 |
| 差入保証金回収益 | 105 |
| その他 | 107 |
| 営業外収益合計 | 227 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 563 |
| 為替差損 | 188 |
| その他 | 9 |
| 営業外費用合計 | 761 |
| 経常損失(△) | △40,733 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △40,733 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,137 |
| 法人税等調整額 | △15,073 |
| 法人税等合計 | △13,935 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △26,798 |
| 少数株主損失(△) | △116 |
| 四半期純損失(△) | △26,681 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自平成26年10月1日
至平成26年12月31日)

| | |
|--------------------|---------|
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △26,798 |
| その他の包括利益 | |
| 為替換算調整勘定 | 409 |
| その他の包括利益合計 | 409 |
| 四半期包括利益 | △26,388 |
| (内訳) | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △26,671 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 282 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第1四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成26年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 2 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3 |
|-----------------------|---------|----------------------------|---------|--------------|----------------------------|
| | クラウド事業 | ポイントエクス チェンジ事業 (注) 1 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 570,410 | 8,789 | 579,199 | - | 579,199 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | - | - | - | - | - |
| 計 | 570,410 | 8,789 | 579,199 | - | 579,199 |
| セグメント利益又は損失(△) | 56,162 | 1,235 | 57,397 | △97,597 | △40,200 |

(注) 1. ポイントエクスチェンジ事業のセグメント利益の額の算定にあたっては、ポイント引当金戻入額を当該事業セグメントの費用に含めております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第1四半期連結会計期間において、株式取得により株式会社マークアイを子会社化したため、同社を連結の範囲に含めております。これにより前連結会計年度の末日に比べ、「クラウド事業」のセグメント資産が669,717千円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「クラウド事業」において、株式会社マークアイの株式取得に伴い、当第1四半期連結累計期間により、同社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては、401,799千円であります。

(重要な後発事象)

(子会社株式の追加取得)

当社は、平成27年1月19日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社マークアイの株式を追加取得することを決議し、平成27年1月30日付にて当該会社の普通株式16.1%を取得いたしました。

(1) 取引の概要

①結合当事企業の名称及び事業の内容

結合当事企業の名称 株式会社マークアイ

事業の内容 知的財産権に関する総合コンサルティング事業

②企業結合日(追加取得日)

平成27年1月30日

③企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

④結合後企業の名称

名称に変更はありません。

⑤その他取引の概要に関する事項

当社グループ経営の安定強化及び機動的かつ柔軟な経営判断を可能にすることを目的として、少数株主が保有する株式を追加取得し、持分比率の引き上げを実施致しました。

(2) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)に基づき、平成27年3月31日をみなし取得日とし、共通支配下の取引等のうち、少数株主との取引として会計処理を行う予定であります。

(3) 子会社株式の追加取得に関する事項

①取得原価及びその内訳

139,475千円

②発生したのれんに関する事項

現時点では確定しておりません。